

訂正表

2024年3月5日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容	掲載日
P. 105	[No. 31] 解説9行目	誤 符号表に照らし合わせると、「0110」は(ACA)、(BD)のどちらにも解釈可能なので一意に復号できない。	2016/3/16
		正 符号表に照らし合わせると、「0110」は(ACA)、(DB)のどちらにも解釈可能なので一意に復号できない。	
P. 106	[No. 35] 解説2～3行目	誤 まず、 n が1文字の場合、照合される回数は m 回である。 n が2文字の場合は、照合回数は $(m-1)$ 回となり、 n が3文字だと $(m-2)$ 回となる。	2024/3/5
		正 まず、 n が1文字の場合、照合される回数は $m \cdot 1$ 回である。 n が2文字の場合は、照合回数は $(m-1) \cdot 2$ 回となり、 n が3文字だと $(m-2) \cdot 3$ 回となる。	
P. 138	[No. 92] 解説3～8行目	誤 ABがダウン : $0.1 \times 0.1 = 0.01$ ACがダウン : $0.1 \times 0.1 = 0.01$ BCがダウン : $0.1 \times 0.1 = 0.01$ ABC共にダウン : $0.1 \times 0.1 \times 0.1 = 0.001$ これらの合計は 0.031 (3.1%)であるから、これを1から引くと、 $1 - 0.031 = 0.969 \approx 0.97$	2017/4/26
		正 ABのみダウン : $0.1 \times 0.1 \times 0.9 = 0.009$ ACのみダウン : $0.1 \times 0.1 \times 0.9 = 0.009$ BCのみダウン : $0.1 \times 0.1 \times 0.9 = 0.009$ ABC共にダウン : $0.1 \times 0.1 \times 0.1 = 0.001$ これらの合計は 0.028 (2.8%)であるから、これを1から引くと、 $1 - 0.028 = 0.972 \approx 0.97$	
P. 149	[No. 113] 解説中程に補充	誤 あるので、 c を新たに b と置いて、さらに a と b の中点を計算していけばよい。 結局、 $f(a) \cdot f(c) < 0$ または、 $f(b) \cdot f(c) > 0$ ……解は a と c の間にあるので $b \leftarrow c$	2017/4/26
		正 あるので、 c を新たに b と置いて、さらに a と b の中点を計算していけばよい。 また、中点 c を考えたとき、 $f(c) < 0$ であったとすると、 $f(x) = 0$ の点は c と b の間にあるので、 c を新たに a と置いて、さらに a と b の中点を計算していけばよい。 結局、 $f(a) \cdot f(c) < 0$ または、 $f(b) \cdot f(c) > 0$ ……解は a と c の間にあるので $b \leftarrow c$	

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。